

CHOFU

バックアップ電源ユニット




型名 BDU-302

工事説明書






- 機器を据付ける前に必ずこの工事説明書をよくお読みの上、正しく据付けてください。なお、この工事説明書は工事終了後、必ずお客様にお渡しください。

特に注意していただきたいこと




- 本書では、人への危害や財産への損害を未然に防止するため、安全に関する重要な内容を次のように分類して記載していますので、必ずお守りください。

 危険	この表示を無視して作業を誤った場合に、作業者またはその作業後の不具合によって使用者が死亡、重傷を負う可能性、または火災の危険が差し迫って生じることが想定される内容を示しています。
 警告	この表示を無視して作業を誤った場合に、作業者またはその作業後の不具合によって使用者が死亡、重傷を負う可能性、または火災の可能性が想定される内容を示しています。
 注意	この表示を無視して作業を誤った場合に、作業者またはその作業後の不具合によって使用者が軽傷を負う可能性、または物的損害の発生が想定される内容を示しています。





- 図記号には次のような意味があります。

 禁止 「してはいけない」内容です。	 実行 「しなければならない」内容です。	
 アースを接続する	 電源プラグを抜く	 分解禁止

危険

家庭用以外の使用禁止 ● この機器は家庭用です。 家庭用以外に使用すると保証の対象外になります。		外部電源出力コンセントに、次のような機器や装置は接続しない ● レーザープリンタやシュレッダーなどの大型電気製品、蛍光灯 ● これらに準ずる装置など	
次のような高い信頼性や安全性が求められる用途には使用しないこと ● すべての医療機器や生命にかかわるような機器への使用 (高い信頼性や安全性が求められる用途) ● 人身の安全に直接関連する用途 (交通機関、エレベーターなどの運行、運転、制御など) ● 故障すると社会的、公共的に重大な損害を与える可能性のある用途 (主要なコンピュータシステム、幹線通信機器など)			

警告

電気設備に関する技術基準、電気工事はそれぞれ指定の工事店に依頼するなど法令の基準を守ること		据付けや移動は、販売店または据付業者が行ってください ● お客様自身で据付けをされ、不備があると火災や感電の原因になります。	
バックアップ電源ユニットの電源プラグは必ず定格入力電圧AC100V、周波数50/60Hzのコンセント(商用電源)に接続する		引火性危険物・腐食性ガス禁止 ● お客様自身で据付けをされ、不備があると火災や感電の原因になります。	

特に注意していただきたいこと

警告

異常(異音・異臭)を感じたときは、運転スイッチを「切」にして、電源プラグをコンセント(商用電源)から抜くこと
電源プラグはコンセント(商用電源)からすぐに抜ける状態で設置すること



改造使用の禁止

(火災・感電・漏電などの思わぬ事故の原因)



- 絶対に改造して使用しないでください。
- 安全装置の無効化などは機器の安全性を損ないます。

改造・分解禁止

(火災・感電・漏電などの思わぬ事故の原因)



- 絶対に改造や分解は行わないでください。
改造や分解は機器の安全性を損ないます。

注意

次の場所には据付けない



- バッテリーが急速に劣化したり、火災を起こしたり、故障したり、誤作動を起こしたりすることがあります。
また火災や予想しない事故の原因になります。

- 周囲の温度が40℃以上になる場所
(直射日光が当たる場所、ストーブなどから熱を受ける場所)
- 湿度が85%以上になる場所
- 密閉された場所
- 極端にほこりの多い場所
- 火や火花の発生するおそれのある場所

アース工事をする



- アース工事を確実に行ってください。
故障や漏電のときに感電するおそれがあります。

商用電源(AC100V)で使用できない機器は接続しない



お願い

工事が完了したら、早めに充電(12時間以上)してください

- 設置後は、バックアップ電源ユニットの電源プラグをコンセント(商用電源)に差し込んで充電してください。
- バックアップ電源ユニットの電源プラグをコンセント(商用電源)に差し込むことでバッテリーを充電できます。

排気部はふさがらない



- 内部温度が上昇し、故障やバッテリー劣化の原因になります。

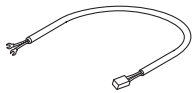
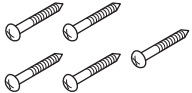
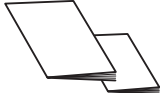
出力容量を超える機器は接続しない



- オーバーロード(過負荷)を検出し、出力を停止します。

付属品の確認

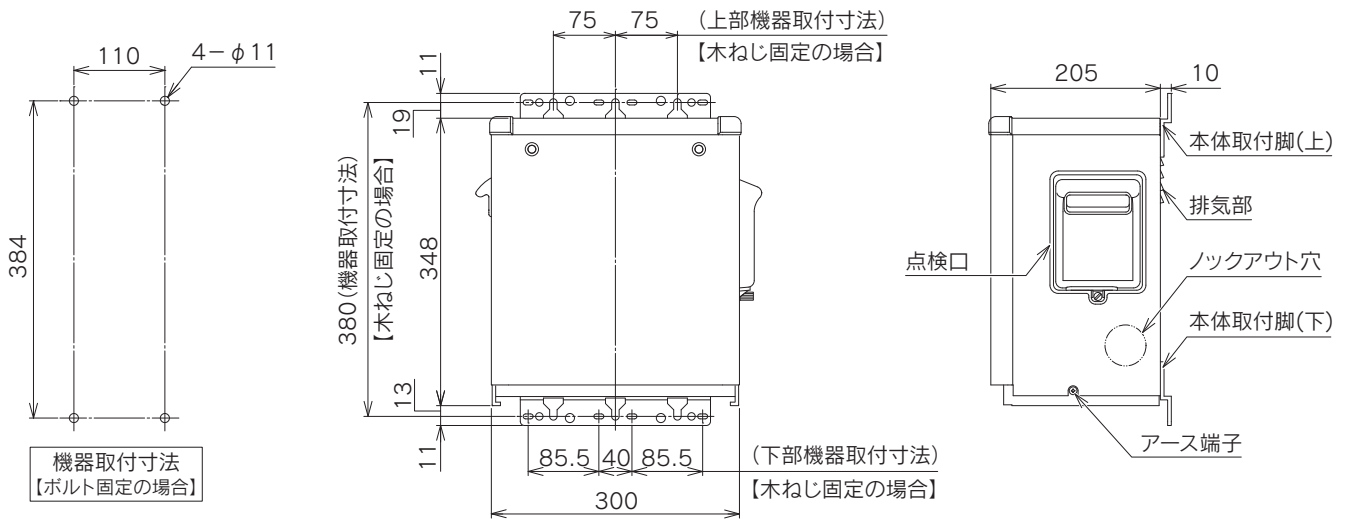
- 梱包されている付属品に不足がないことを確認してください。

		
給湯器通信線	木ねじ(5本)	取扱説明書(保証書付) 工事説明書

別売部品

- 給湯器
- リモコンセット
- 増設リモコンセット
- リモコンコード

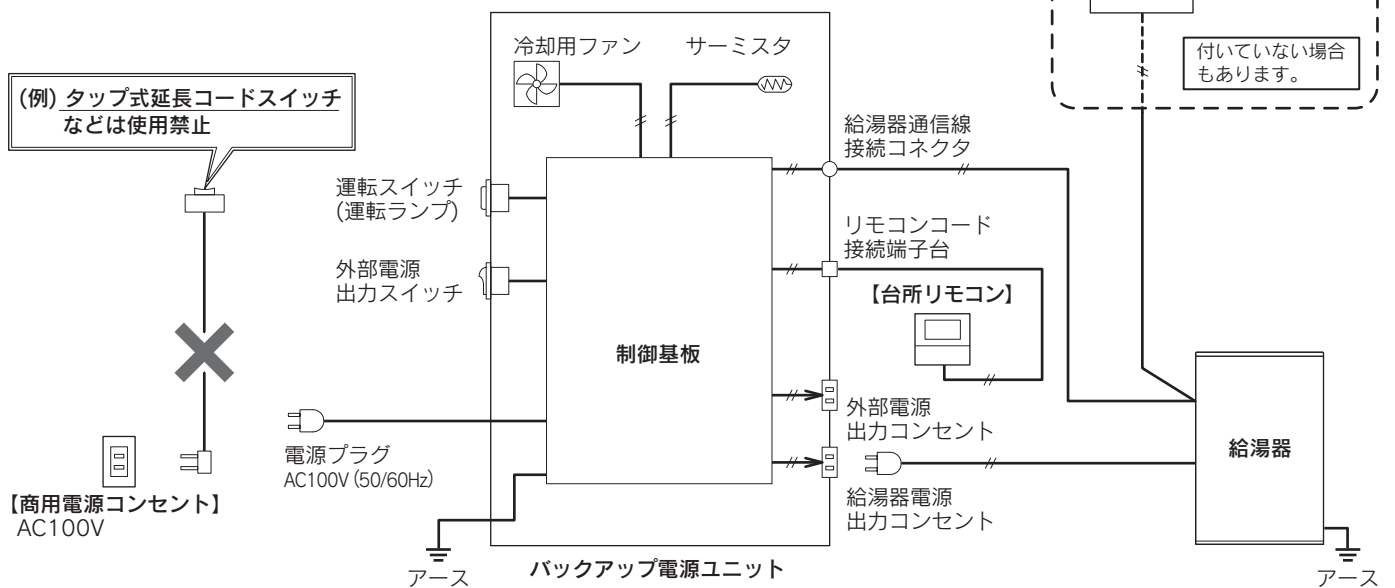
外形寸法図



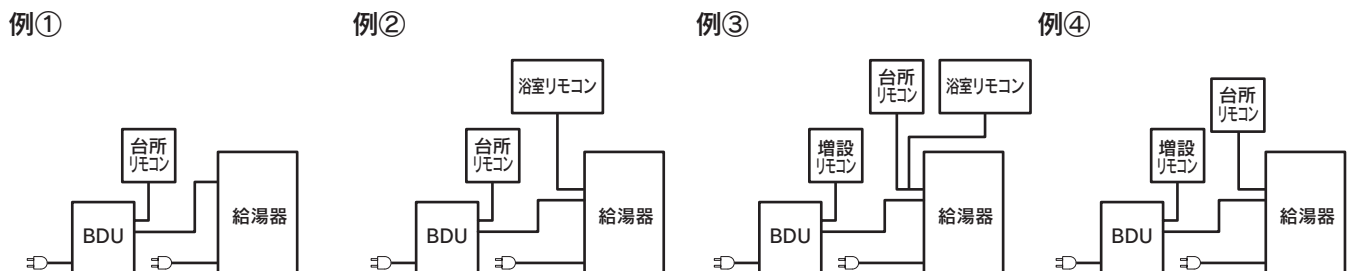
接続例

設置時のご注意

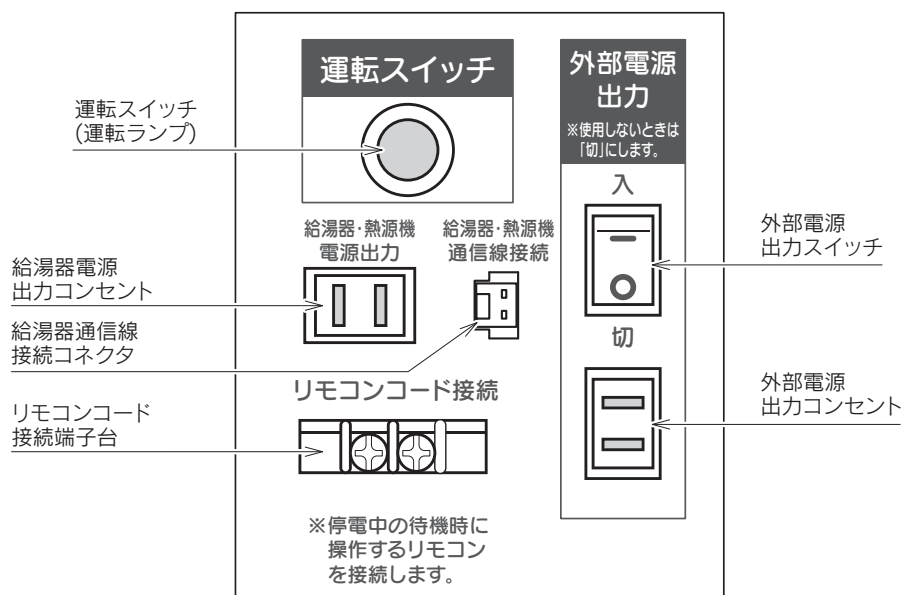
- バックアップ電源ユニットの電源プラグは、必ず**常時通電**のコンセント(商用電源)に接続してください。
- バックアップ電源ユニットの電源プラグとコンセント(商用電源)の間には、何も接続しないでください。



- お使いの給湯器とリモコンにより下記のような組み合わせがあります。



点検口内部詳細



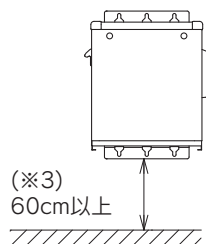
据付け

「特に注意していただきたいこと」の項も必ず確認してください。

1 設置場所

- バックアップ電源ユニットの質量は約 14.5kg ありますので、取付ける壁に十分な強度があることを確認してください。
- 取付ける壁や、周囲の壁は不燃材で仕上げてください。

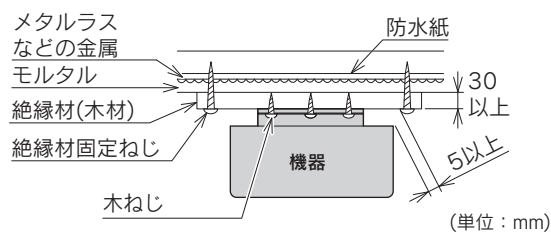
2 標準据付例



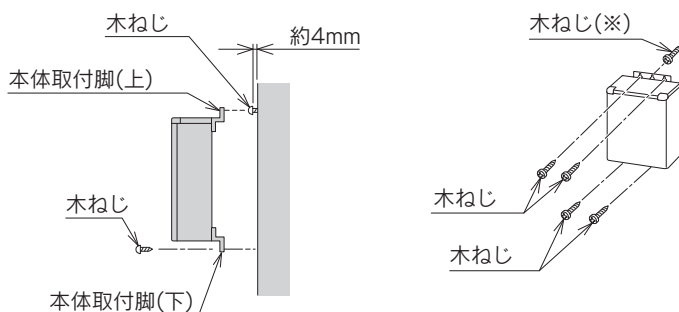
- ※1 機器前面は、サービススペースとして 60cm 以上あけてください。
- ※2 屋内設置の場合、据置設置も可能です。
据置設置の場合は、本体取付脚(下)をはずして(ねじ2本)ください。
- ※3 屋外設置の場合、雨水の跳ね返りから機器を守るために必要な寸法です。

3 バックアップ電源ユニットの設置

- バックアップ電源ユニットは必ず壁面に垂直に取付けてください。(水準器などで確認してください。)
- バックアップ電源ユニットは給湯器の電源プラグを差し込める位置(できるだけ近く)に据付けてください。
- メタルラス張り・ワイヤラス張り・金属板張りなどの壁に取付けるときは、これらの壁とバックアップ電源ユニットが電氣的に接触しないように設置してください。(電気設備に関する技術基準)



1. 木ねじ(1本※)を引掛け部(約4mm)を残して壁にねじ込みます。
2. バックアップ電源ユニットの本体取付脚(上)の中央の穴を木ねじ(※)に引掛け、バックアップ電源ユニットを垂直にして図のように本体取付脚の穴へ残りの木ねじ(4本)で固定します。



電気配線

警告

- 電源コードの届く範囲にコンセント(商用電源)がないときは、電力会社の指定工事店に依頼し、所定の電気配線をしてください。絶対に電源コードを切断して延長しないでください。火災や感電の原因になります。
- 電源コードは束ねたまま使用しないでください。また、余った電源コードやアース線は機器内に入れないでください。火災の原因になります。

使用電源

- 電源は必ずAC100Vを使用してください。
絶対に200Vに接続しないでください。機器が破損します。

電圧降下

- 電圧が低下すると故障・誤動作の原因になります。

電源周波数

- この機器は50Hz・60Hz共用です。

接地(アース)



- アース工事を確実に行ってください。
アースが不完全な場合は、感電するおそれがあります。
- 機器の側面にアース端子があります。
電気設備に関する技術基準および内線規程に基づき、D種接地工事を行ってください。
(接地抵抗100Ω以下)
- アース線はガス管・水道管・避雷針・電話のアース線に接続しないでください。

接続前の準備

警告

- 余ったリモコンコードは機器外でまとめ、機器内に入れないでください。また、リモコンコードを切断して使用するときは、樹脂スリーブ付のY形端子を使用してください。発煙・発火・故障の原因になります。

- この機器には別売のリモコンセットとリモコンコードが必要です。
台所リモコンまたは浴室リモコンのどちらかひとつ(停電時に操作するリモコン)をバックアップ電源ユニットに取付け、付属の給湯器通信線を給湯器のリモコン端子台に接続してください。**本体取扱説明書**
※残りのリモコン(浴室リモコンまたは台所リモコン)は、給湯器のリモコン端子台に接続します。
- バックアップ電源ユニットとリモコンおよびバックアップ電源ユニットと給湯器の接続は小勢力回路の工事に該当し、電気工事士の資格がなくてもできますが、電気設備に関する技術基準に従って工事を行ってください。
- リモコンコードおよび給湯器通信線は、電源プラグをコンセント(商用電源)に差し込む前に接続してください。
- 電動ドライバーは絶対に使用しないでください。端子のねじ穴が破損して接触不良を起こすおそれがあります。



リモコンコードと給湯器通信線の接続、電源プラグの差し込み

リモコンの取付け

リモコンの取付けは、リモコンセット付属の「工事説明書」をご覧ください。

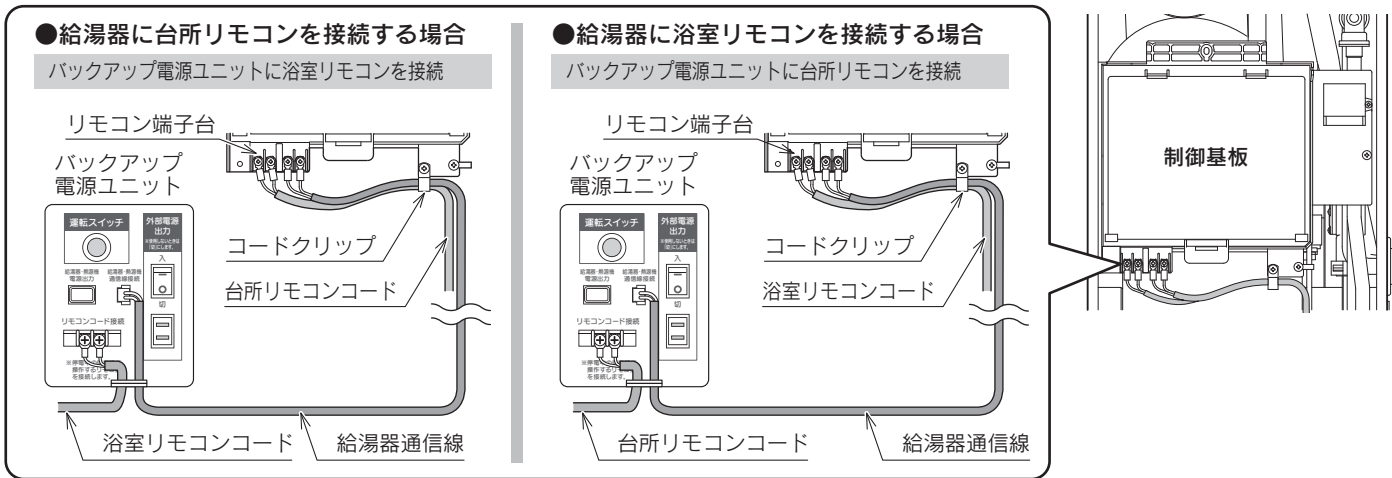
- バックアップ電源ユニットのリモコンコード接続端子台には、停電時に操作するリモコンを接続します。
お客様とご相談の上、接続するリモコンを選択してください。
(注)停電時の操作はバックアップ電源ユニットに接続したリモコンのみ可能になります。
- 増設リモコン(CMR-2501SV)を取付けピークシフト運転を行うときは、増設リモコンをバックアップ電源ユニットに接続してください。
- 残りのリモコンは、給湯器のリモコン端子台に接続します。(給湯器と接続する場合)



リモコンコードと給湯器通信線の接続、電源プラグの差し込み

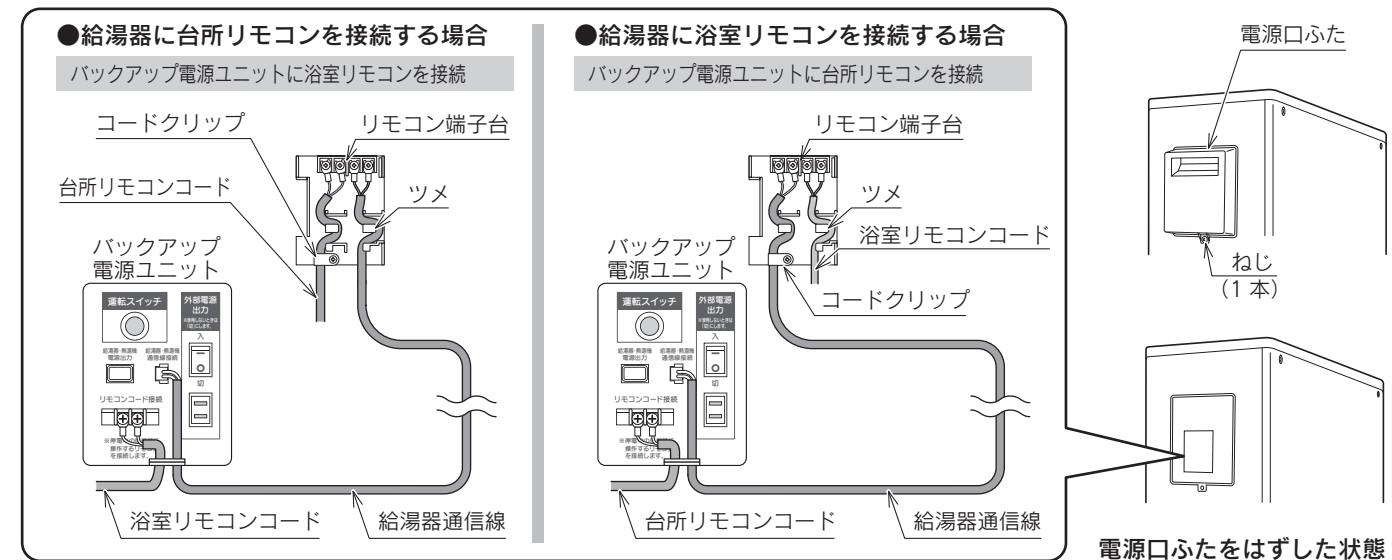
給湯+強制追いだし 機器内で接続する場合(機器内に端子台がある機種)

1. 電源プラグがコンセントに差し込まれていないことを確認します。
電源プラグを差したままリモコンコードを接続しないでください。
2. 前パネルのねじ(2本)をはずして前パネルをはずします。
3. 機器側面の送油管・配線取出口を通してリモコンコードを機器内に入れます。
4. バックアップ電源ユニットに接続しなかったリモコンのリモコンコードと給湯器通信線をリモコン端子台に接続します。
 - ・リモコンコードと給湯器通信線は無極性ですので、+はありません。
 - ・ドライバーなどが他の電子部品に接触しないように注意してください。
5. リモコンコードと給湯器通信線をコードクリップ(リモコンセットに付属)でしっかりと固定します。増設リモコンを接続するときは、コードクリップで一緒に固定してください。
6. 前パネルを元通りに取付けます。



給湯+強制追いだし 機器外で接続する場合(電源口ふた内に端子台がある機種)

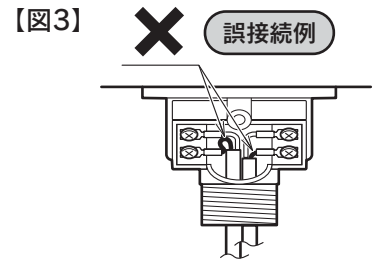
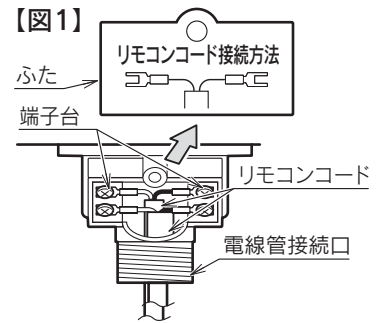
1. 電源プラグがコンセントに差し込まれていないことを確認します。
電源プラグを差したままリモコンコードを接続しないでください。
2. 機器の電源口ふたのねじ(1本)をはずして、電源口ふたをはずします。
3. バックアップ電源ユニットに接続しなかったリモコンのリモコンコードと給湯器通信線をリモコン端子台に接続します。
 - ・リモコンコードと給湯器通信線は無極性ですので、+はありません。
4. リモコンコードまたは給湯器通信線は端子台のツメに引掛けてしっかりと固定します。ツメに引掛けても固定できないときは、コードクリップでしっかりと固定してください。
増設リモコンを接続するときは、コードクリップで一緒に固定してください。
5. リモコンコードを軽く下に引張り、しっかりと固定されていることを確認します。
6. 電源口ふたを元通りに取付けます。



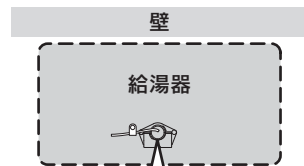
リモコンコードと給湯器通信線の接続、電源プラグの差し込み

給湯+強制追いだし 機器外で接続する場合(電線管接続口に端子台がある機種)

1. 電源プラグがコンセントに差し込まれていないことを確認します。
電源プラグを差したままリモコンコードを接続しないでください。
2. 機器底面にある電線管接続口のふたを固定しているねじ(1本)をはずし、ふたをはずします。【図1】
(注)ふた・ねじをなくさないように注意してください。
3. バックアップ電源ユニットに接続しなかったリモコンのリモコンコードと給湯器通信線を電線管接続口から端子台に引き込み、Y形端子を端子台に接続します。【図2】
その際、誤接続しないように注意してください。【図3】
・リモコンコードと給湯器通信線は無極性ですので、+はありません。
(注)Y型端子を同じリモコン端子に2本接続する場合は、Y型端子を背中合わせにしてください。【図4】

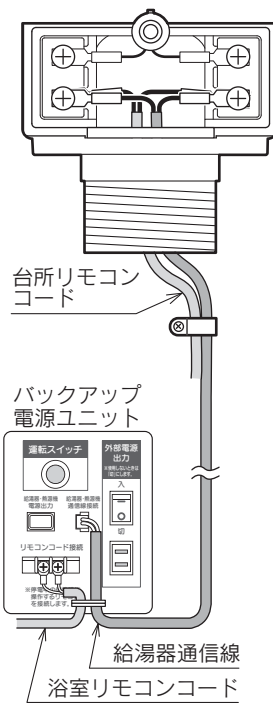


【図2】



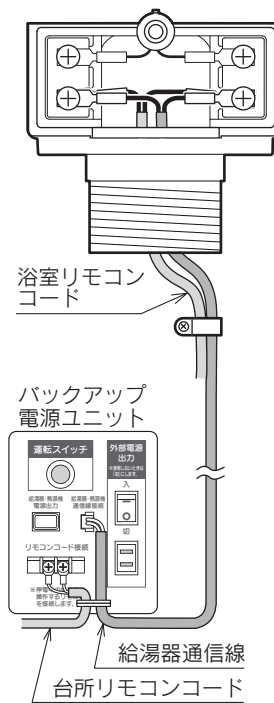
●給湯器に台所リモコンを接続する場合

バックアップ電源ユニットに浴室リモコンを接続



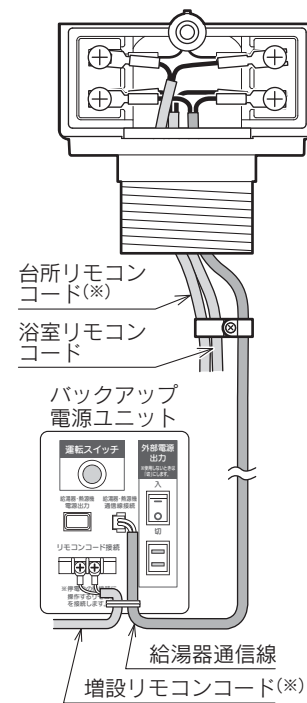
●給湯器に浴室リモコンを接続する場合

バックアップ電源ユニットに台所リモコンを接続



●リモコンを増設する場合

バックアップ電源ユニットに増設リモコンを接続

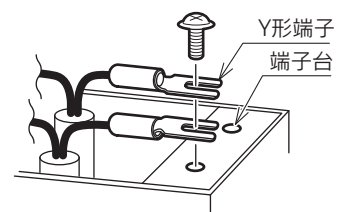


※バックアップ電源ユニットに台所リモコンを接続する場合は、台所リモコンコードと増設リモコンコードを逆にします。

4. リモコンコードと給湯器通信線をコードクリップでしっかりと固定します。
5. リモコンコードを軽く下に引張り、しっかりと固定されていることを確認します。
6. 元通りふたを取付け、ねじで固定します。

【図4】

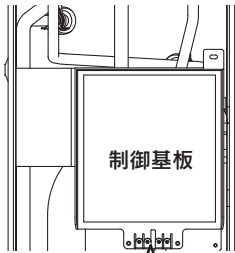
Y形端子を重ねて接続するときは背中合わせにして固定します。



リモコンコードと給湯器通信線の接続、電源プラグの差し込み

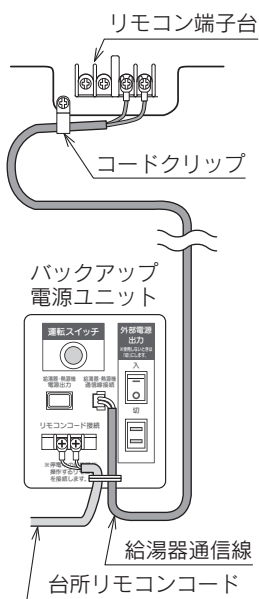
給湯専用 機器内で接続する場合(機器内に端子台がある機種)

1. 電源プラグがコンセントに差し込まれていないことを確認します。
電源プラグを差したままリモコンコードを接続しないでください。
2. 前パネルのねじ(2本)をはずして前パネルをはずします。
3. 機器側面の送油管・配線取出口を通してリモコンコードを機器内に入れます。
4. バックアップ電源ユニットに接続しなかったリモコンのリモコンコードと給湯器通信線をリモコン端子台に接続します。
 - ・リモコンコードと給湯器通信線は無極性ですので、＋はありません。
 - ・ドライバーなどが他の電子部品に接触しないように注意してください。
5. リモコンコードと給湯器通信線をコードクリップ(リモコンセットに付属)でしっかりと固定します。増設リモコンを接続するときは、コードクリップで一緒に固定してください。
6. 前パネルを元通りに取付けます。



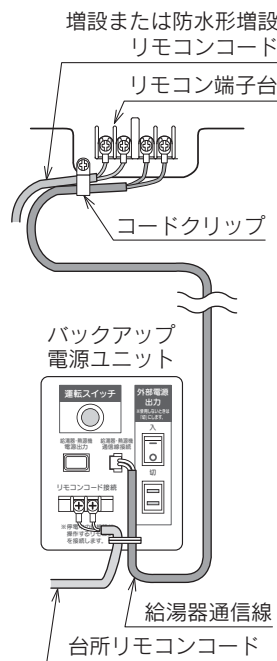
●リモコンを接続する場合

バックアップ電源ユニットに台所リモコンを接続

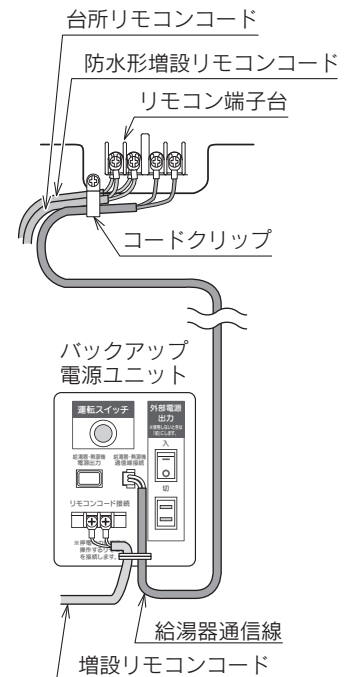


●リモコンを増設する場合

バックアップ電源ユニットに台所リモコンを接続



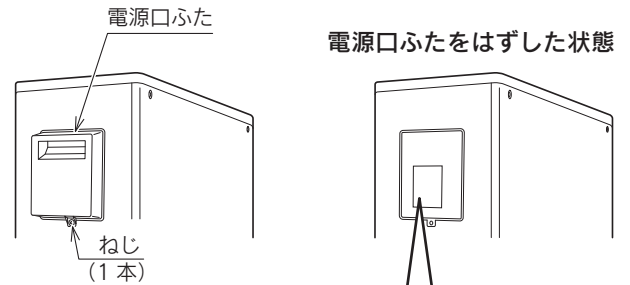
バックアップ電源ユニットに増設リモコンを接続



リモコンコードと給湯器通信線の接続、電源プラグの差し込み

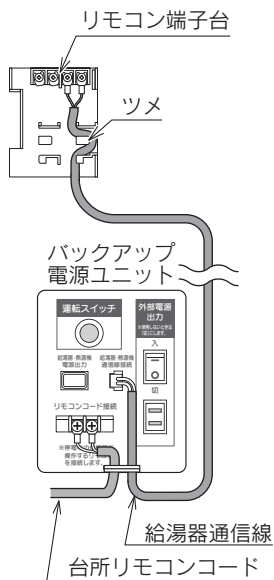
給湯専用 機器外で接続する場合（電源口ふた内に端子台がある機種）

1. 電源プラグがコンセントに差し込まれていないことを確認します。
電源プラグを差したままリモコンコードを接続しないでください。
2. 機器の電源口ふたのねじ（1本）をはずして、電源口ふたをはずします。
3. バックアップ電源ユニットに接続しなかったリモコンのリモコンコードと給湯器通信線をリモコン端子台に接続します。
・リモコンコードと給湯器通信線は無極性ですので、＋－はありません。
4. リモコンコードまたは給湯器通信線は端子台のツメに引掛けてしっかりと固定します。ツメに引掛けても固定できないときは、コードクリップでしっかりと固定してください。
増設リモコンを接続するときは、コードクリップで一緒に固定してください。
5. リモコンコードを軽く下に引張り、しっかりと固定されていることを確認します。
6. 電源口ふたを元通りに取付けます。



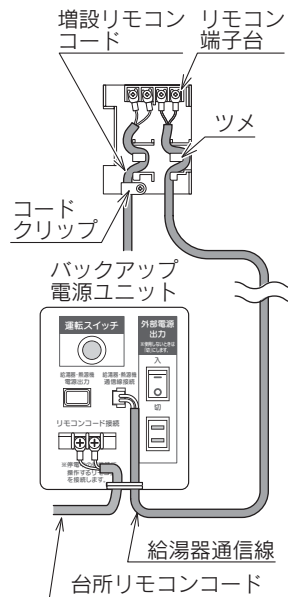
●リモコンを接続する場合

バックアップ電源ユニットに
台所リモコンを接続

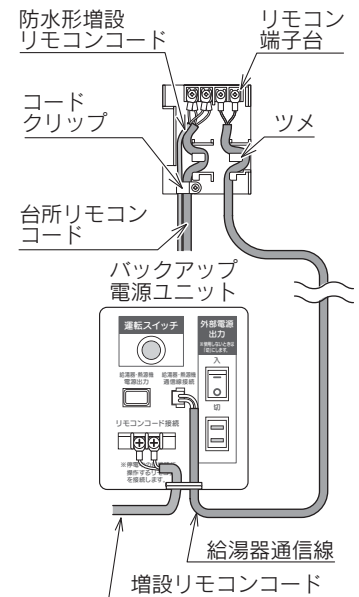


●リモコンを増設する場合

バックアップ電源ユニットに
台所リモコンを接続



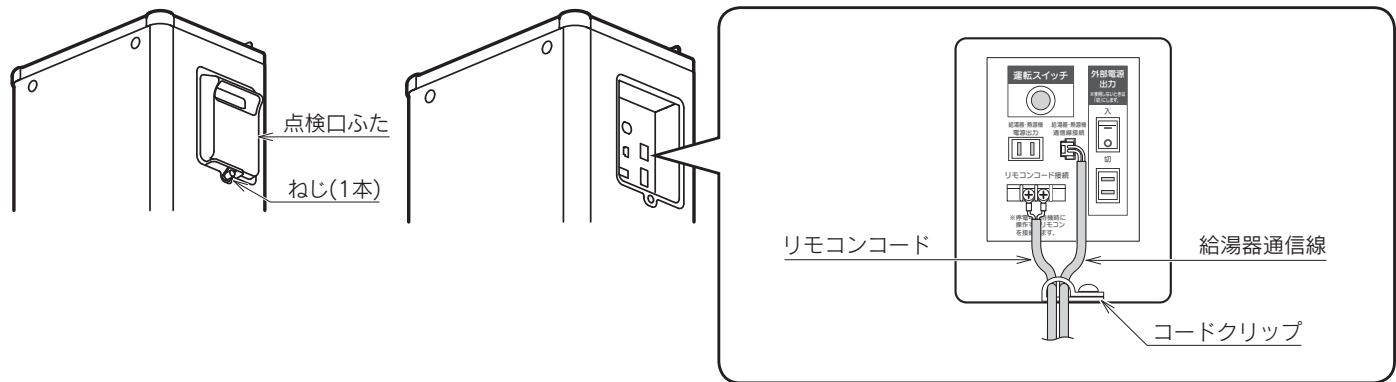
バックアップ電源ユニットに
増設リモコンを接続



リモコンコードと給湯器通信線の接続、電源プラグの差し込み

バックアップ電源ユニットとの接続

1. バックアップ電源ユニットおよび給湯器の電源プラグが、コンセント(商用電源)に差し込まれていないことを確認します。
2. バックアップ電源ユニットの点検口ふたのねじ(1本)をはずして、点検口ふたをはずします。
3. リモコンコードをリモコンコード接続端子台に、給湯器通信線を給湯器通信線接続コネクタにそれぞれ接続します。
・リモコンコードは無極性ですので、＋はありません。
4. リモコンコードおよび給湯器通信線をコードクリップでしっかりと固定してください。
5. リモコンコード、給湯器通信線を軽く引張り、しっかりと固定されていることを確認します。



給湯器電源プラグの接続、外部電源出力の使用

- 給湯器の電源プラグをバックアップ電源ユニット点検口内部の給湯器電源出力コンセントに差し込みます。
※給湯器の電源プラグを外部電源出力コンセントに差し込まないように注意してください。
- 外部電源として利用したい機器があれば、その機器の電源プラグを外部電源出力コンセントに差し込みます。〔給湯器も含め定格(停電時合計300Wまで)内で使用できる機器を接続できます。〕
※外部電源として利用したい機器の電源プラグを給湯器電源出力コンセントに差し込まないように注意してください。
- 接続が完了したら、点検口ふたを元通りに取付けます。

バックアップ電源ユニット電源プラグの接続

- バックアップ電源ユニットの電源プラグをコンセント(商用電源)に差し込みます。

据付工事後の点検・確認

- 据付工事が終わりましたら、もう一度確認してください。

バックアップ電源ユニットおよびその周辺

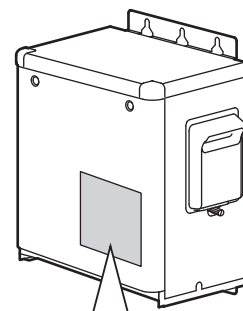
- 点検・修理など保守・管理上必要なスペースはありますか。
- 設置条件を満たしていますか。

電気配線工事

- バックアップ電源ユニットとリモコン、バックアップ電源ユニットと給湯器への配線は、指定された工事で行われていますか。
- D種接地工事は行われていますか。

使用開始年月の記入

- 据付工事の点検・確認が終わりましたら、前パネルの型式製番シールに「使用開始年月」を油性マジックなどで記入してください。

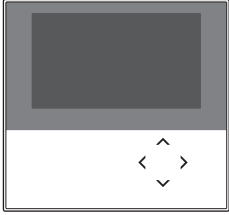
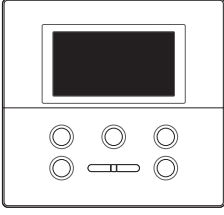
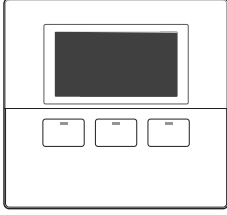
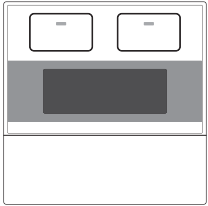
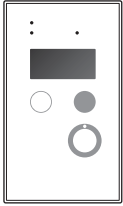


定格電圧: AC100V	定格周波数: 50/60Hz
定格出力: 300W	バッテリー容量: 288Wh
出力波形: 正弦波	
製造番号: <input type="text"/>	年製 <input type="text"/>
鉛バッテリー(鉛蓄電池)が入っています	
購入日、鉛バッテリー(鉛蓄電池)を交換した日付を下の欄に記入し、定期的に交換してください。	
年 <input type="text"/>	月 <input type="text"/> から使用開始
▲ 警告	

試運転

●試運転は必ずお客様と一緒に行ってください。

1 運転準備

準備内容(確認事項)	チェック
<p>1. 停電時に操作するリモコンを確認してください。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: flex-start;"> <div style="text-align: center;"> <p>カラー液晶リモコン</p>  </div> <div style="text-align: center;"> <p>インターホンリモコン</p>  </div> <div style="text-align: center;"> <p>音声リモコン</p>  </div> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: flex-start; margin-top: 20px;"> <div style="text-align: center;"> <p>カンタンリモコン</p>  </div> <div style="text-align: center;"> <p>ラクラクリモコン</p>  </div> </div>	
<p>2. 給湯器通信線はバックアップ電源ユニットの給湯器通信線接続コネクタと給湯器のリモコン端子台に接続されていますか。</p>	
<p>3. 停電時に操作するリモコンのリモコンコードは、バックアップ電源ユニットのリモコンコード接続端子台に接続されていますか。</p>	
<p>4. 残りのリモコンのリモコンコードは、給湯器のリモコン端子台に接続されていますか。</p>	
<p>5. 給湯器の電源プラグは、バックアップ電源ユニットの給湯器電源出力コンセントに差し込まれていますか。</p>	
<p>6. バックアップ電源ユニットの電源プラグは、コンセント(商用電源)に差し込まれていますか。</p>	
<p>7. バックアップ電源ユニットの外部電源出力スイッチは「切」になっていますか。</p>	

2 運転 ※必ず 1 通常時 → 2 停電時の確認 → 3 外部電源出力 の順で行ってください。

1 通常時

1. 運転開始手順

バックアップ電源ユニットの運転スイッチを「入」にしてください。運転ランプが点灯します。

※運転開始から約5秒間は運転ランプが点灯しますが、それ以降は約5秒ごとに点滅します。

2. 給湯器動作の確認

給湯器の取扱説明書・工事説明書の「試運転」に従い、動作確認を行います。

試運転

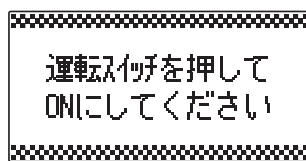
2 停電時の確認

- 1.バックアップ電源ユニットの電源プラグをコンセント(商用電源)から抜いて停電状態にします。 **本体取扱説明書**

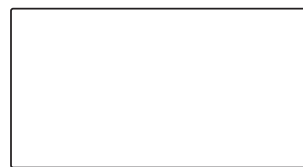
バックアップ電源ユニットに接続したリモコンの表示画面



カラー液晶リモコン
(CMR-3000、YST-3000シリーズ)



インターホンリモコン
(CMR-2500、YST-2500シリーズ)



音声リモコン(CMR-2700、YST-2700シリーズ)
カンタンリモコン(CMR-2900、YST-2900シリーズ)
ラクラクリモコン(CMR-2800シリーズ)

- 2.停電時給湯器運転開始手順

バックアップ電源ユニットに接続したリモコンの運転スイッチを「入」にします。

リモコン表示画面が点灯します。(バッテリー残量表示) **本体取扱説明書**

- 3.給湯器動作の確認

給湯器の取扱説明書に従い、「給湯運転」の動作確認を行います。

※停電時の運転中は、給湯運転のみに制限されます。

給湯器の種類により、通常時に使用できるふる自動運転・追いき運転などのリモコン操作は受け付けません。詳しくは、取扱説明書を参照してください。

3 外部電源出力

- 1.外部電源出力操作手順

バックアップ電源ユニットの外部電源出カスイッチを「入」にします。

- 2.外部電源出力の確認

外部電源出カコンセントにAC100Vが出力されることを確認します。

※確認後は、必ず外部電源出カスイッチを「切」にしてください。 **本体取扱説明書**

引き渡し

お客様への説明

- 取扱説明書に従い取扱方法をお客様に説明してください。
- 保証書に必ず必要事項をご記入の上、お客様にお渡しください。(保証書は取扱説明書の巻末です。)
また、取扱説明書に従い「アフターサービス」について説明してください。

廃棄するときの注意

- バックアップ電源ユニットは、鉛バッテリー(鉛蓄電池)を使用しています。鉛バッテリーは貴重なリサイクル資源です。バックアップ電源ユニットを廃棄するときは、鉛バッテリーのリサイクルにご協力ください。
- 鉛バッテリーは「廃棄物の処理および清掃に関する法律」において「特別管理産業廃棄物」に指定されています。むやみに鉛バッテリーを廃棄することはできません。
- 鉛バッテリーのリサイクルの詳細、廃棄については、当社までご連絡ください。



鉛バッテリー(鉛蓄電池)はリサイクルへ
連絡先: 株式会社 長府製作所

住宅設備機器総合メーカー
株式会社 長府製作所



●本社 〒752-8555 山口県下関市長府扇町2-1 ☎(083)248-1111
FAX(083)248-1906